

2025日本万国博覧会誘致委員会 2017年度事業報告

■海外プロモーション

⇒国や経済界と連携し、国際会議等の機会を捉え、また、在京大使館訪問などによりBIE加盟国に対しプロモーションを実施

⇒主な取組内容

- ・BIE総会（6月）のプレゼンテーションでアピール
総会でのプレゼンテーション、各国駐仏大使等に対する働きかけ
- ・アスタナ国際博覧会（7月）でのPR
各国のパビリオン等を訪問し、誘致を働きかけ
- ・TICADアフリカ開発会議（アフリカ51か国が参加）（8月）
プレゼンテーション実施、参加各国との個別会談における働きかけ
- ・BIE総会（11月）のプレゼンテーションでのアピール
総会でのプレゼンテーション、各国駐仏大使等に対する働きかけ
- ・在京大使、在阪領事等に対するプロモーションの実施
東京では、BIE加盟国の在京大使に対し、また、大阪では在阪領事等に対するプロモーション活動
- ・BIE関係者の現地視察等への対応
表敬、ビッド・ドシエに係るプレゼンテーション、夢洲会場視察、大阪市内視察等

<決算額約1.11億円（予算額比約0.35億円減）>

■国内機運醸成

⇒誘致委員会の会員や賛同者、応援決議の獲得、様々な主体と協力した機運を醸成する取組みを実施

⇒主な取組内容

- ・誘致委員会ホームページの開設
会員募集、誘致活動の報告、ニュースリリースなど万博誘致関連情報を日・英・仏語で発信
- ・誘致ロゴマークの公募、選定
誘致活動のシンボルマークとなるロゴを公募の上、選定。応募総数1,331点
- ・シティドレッシング（まちの装飾）の実施
BIE調査団による訪日（現地調査）の機会をはじめ、国内の誘致機運の盛り上げを国内外にアピールするシティドレッシングを展開
- ・「私の考える万博絵画展」の実施
全国の小学生から万博への期待や想いを描いた絵画を募集。応募総数2,194点
関西地域の商業施設等で応募作品を展示
- ・万博誘致賛同者拡大に向けた活動
様々な主体と連携を図り、各種イベントでのPR活動や賛同署名集めなどを実施

【賛同者等の数値】

	2017.3末	2018.3末
賛同者数	約150人	約114万人
うち誘致委員会会員数	約150人	約24万人
自治体等の決議	全国4団体	全国125団体

【オフィシャルパートナー・オフィシャルサポーター等の状況（2018.3末時点）】

スペシャルパートナー：1団体 オフィシャルパートナー：164社 オフィシャルサポーター：66社
（オフィシャルパートナー・オフィシャルサポーターには現物による協賛企業を含む）

<決算額約1.93億円（予算額比約0.3億円増）>

■収入

・分担金

大阪府、大阪市及び経済界から、それぞれ59,222,816円を収入

・有償頒布収入

有償頒布事業（ポロシャツ・スタッフジャンパー）において、13,740,255円を収入

・その他収入

公益財団法人関西・大阪二十一世紀協会より、日本万国博覧会記念基金から152,200,000円の寄附金を収入